

第2回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年4月23日(水) 19:20 ~ 20:50	場所	臼杵商工会議所別館2階 会議室
団体名	一般社団法人 臼杵青年会議所		
団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成に関する取組 ・会員同士の自己研鑽、研修 ・他地域の青年団体との交流 ・地域の行事への参画 		
話し合いのテーマ	リ・スタートうすき（市長マニフェスト）の3本柱について ①子育てしやすく、働きやすいまちづくり ②臼杵の地域資源の魅力発信 ③住み慣れた地域で安心して暮らせるまち		
参加者	9名（団体メンバー8名、西岡市長）		

対話の様子

対話では、『子育てしやすく、働きやすいまちづくり』『臼杵の地域資源の魅力発信』『住み慣れた地域で安心して暮らせるまち』をテーマに活発な意見交換が行われました。
参加者からは、以下のようなご意見がありました。

- ・ 臼杵には地場産業や既存の企業で元気なところもたくさんある。そうした中で、外から若い人や新しい事業を呼び込むためには、「臼杵市は何か面白いことをやっている」と思わせるような1つシンボルとなるような取組や統一したコンセプトがあったほうがよい。
- ・ IT教育の大切さを親世代に伝えていくことも大事だと思う。
- ・ 建設業においてもデジタル技術の進歩による変化は生まれてきており、これまで熟練の技術がなければできなかった機械操作などをコンピュータ制御で行うことが可能になりつつある。
- ・ 自分の住んでいる地域の学校および地域の人との関わりなどを含めてふるさと教育なのかなと思う。
- ・ 大分県の観光において臼杵市が別府、湯布院に続く第3の選択肢になるように、臼杵全体として取り組んではどうか。
- ・ 臼杵が好きで残っている人、帰ってくる人、外から入ってくる人は、臼杵のために何かしたいという人が多い。そんな人の力をうまく活用できれば臼杵の未来も明るい。
- ・ 臼杵の街中を大型トラックがたくさん走っているが、歩道が狭く危険に感じる箇所がある。港がリニューアルされ、今後、物流が増えると思うので、歩道や道路の整備が必要。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ 臼杵は本当に魅力のあるまちなので、臼杵のことを知れば皆ファンになる。そんな可能性のあるまちだが、知名度が低い。臼杵の魅力を発信する際のコンセプトを検討したい。
- ・ 臼杵の城下町一帯を1つのテーマパークと捉えて、観光施設や飲食店等の営業情報などを共有できるようなアプリを開発したい。

参加者の皆様、たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

